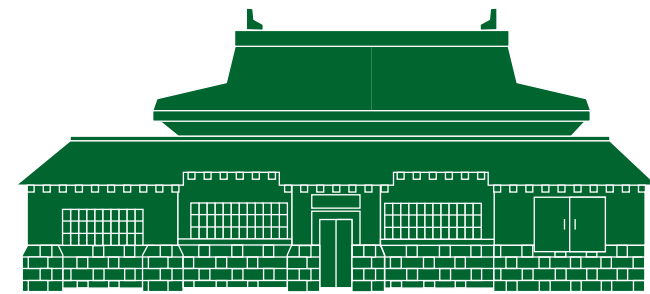
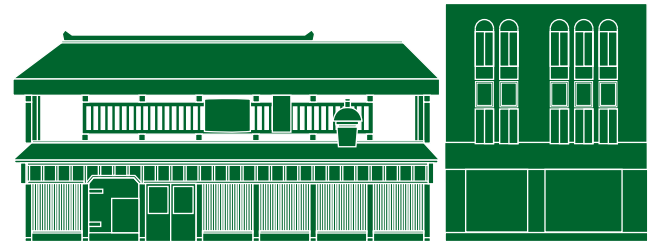


カナザワ ケンチク サンポ vol.5

オウミチヨウ・オワリチヨウ・オオテマチ
カズエマチ・シモシンチヨウ・カナザワジョウ
金沢建築散歩 近江町・尾張町・大手町・主計町・下新町・金沢城



CITIZEN'S CULTURE MUSEUM



FUKUHISAYA ISHIGURO DENROKU SHOUTEN



MITA SHOUTEN



KANAZAWA BUNGEIKAN



THE OLD SITE OF MR. KURANDO TERASHIMA'S HOUSE

KUROMONMAE PARK KAHOKUMON

エドケンチク メイジケンチク

A1 A2 武家屋敷寺島蔵人邸
THE OLD SITE OF MR. KURANDO TERASHIMA'S HOUSE

B1 B2 福久屋石黒傳六商店
FUKUHISAYA ISHIGURO DENROKU SHOUTEN



A1 乾泉
Ken-sen

満天星(ドウダツツジ)の名所

庭園の名称「乾泉」の由来になっている、水の
ない枯池を中心に巡るようにつくられた池泉回遊
式庭園。飛石や石橋などには、地元の戸室石や浦
坂石を用いており、蔵人が造らせたという

青戸室石三重丸輪の塔もその一つ。樹高3~4
mにも達するドウダツツジが春に開花、秋に
は赤ではなく、黄金色に紅葉する姿も見所。



A2 中級武士寺島蔵人
Kurando Terashima

築230年の邸宅跡

加賀藩の中級武士であった寺島蔵人の築約
230年の邸宅跡。南側小路に面していた長屋門
は失われましたが、現存する家屋、土蔵、土塀が
中級武家屋敷の形態を伝えてくれています。2階には
画家としても知られる蔵人の画室であった「白
雲深処」、1階には琴の音が共鳴するように天井
が弓状になっている四畳の間が残っており、
当時の文化水準の高さを感じられます。



B2 町家とモダンビルディング
Machiya and Modern building

20代続く現役薬局店

石黒家は現当主で20代にもなる由緒ある名家で
あり、7代目から代々傳六(でんろく)を襲名して
います。建物は嘉永5年に建築され、現在も現役の
薬局店です。元々間口は13間でしたが、大正15年

に建物右側のモダン建築を建てた際に右側3間を
削り、現在は間口10間となっています。どちらの
建物も、改修・改造を重ねながらも昔の姿を残し
現存しております。

C1 C2 黒門前緑地 旧高峰家・旧検事正官舎
KUROMONMAE PARK

D1 D2 町民文化館
CITIZEN'S CULTURE MUSEUM



C1 高峰譲吉の生家
The old house of Jokیکی Takamine

アドレナリンを発見した金沢の偉人

アドレナリンを発見した高峰譲吉の生家のはな
れを移築したもので、明治5年に建てられまし
た。杉の角柱の床柱に、杉磨丸太の床樑が付いた
床がある九畳の茶室と、四畳半の板床を取込んだ

茶室が並び、どちらの天井にも江戸ササラ風の襖
紙が貼られています。奥にある三畳の水屋は船底
天井となっていて、小さな空間に変化と広がり
を与えています。



C2 旧検事正官舎
The old residence of a prosecutor

明治43年建築のものを移築

正面右の玄関側の建築は明治43年に建築され
た旧検事正官舎を移築したものです。元々は兼六園
下にありました。白の洋風下見張り応接間や、格子天井の10畳座敷などは、当時の近代和
風建築の特徴をあらわしています。



D2 和洋折衷による重厚感
Compromise between East and West

銀行当時の重厚感

内装は、ローマ建築等に見られる円柱を木造り
の角柱で再現するなど、西洋建築の形や技法を
大工の棟梁達が独自に応用して取り入れ、白漆
喰と艶色のニスで仕上げられており、和洋折衷の不

思議な重厚感が漂っています。また、窓口や頭取
室、地下金庫が現存しており、銀行当時の様子
を見ることが出来ます。

ショウワロマン

E1 E2 金沢文芸館
KANAZAWA BUNGEIKAN

F1 F2 三田商店
MITA SHOUTEN



E1 銀行の面影と共に
Memory of the bank

昭和4年の銀行建築を文芸館に

銀行時代の受付カウンターは幅を削った後にサ
ロンの中央に配置。金庫はミニギャラリーへの
重厚なエントランスとなり銀行の面影を残しま
す。2階の五木寛之文庫は、五木さんご本人のブ

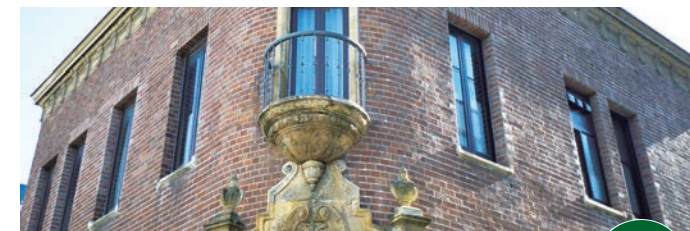
ロデュースにより書斎のような落ち着いた佇ま
い。元会議室だった3階の文芸フロアは、構造梁
を露出させた天井が創建時に近い状態の広間空
間を再現しています。



E2 金沢文芸館
Kanazawa Bungeikan

金沢文芸活動の拠点

金沢の文芸活動の拠点、発信基地である金沢文
芸館。元々は昭和4年に銀行として建てられ、以
降この界隈のランドマークとして親しまれてき
ました。閑居化された擬ルネサンス様式の建築
で、変形した敷地に合わせて斜めに折れ曲がつ
て建てられています。ファサードはフリーズとコ
ニースという水平の突帯が上下を2層に分けて
おり、正面玄関の左右にはイオニア式の角柱付
け柱が配られています。



F2 ファサード
Facade

帝国劇場がモデル

交差点面する曲線部に設けた正面玄関の左右
にはコリント式柱頭飾り、玄関欄間にはステンド
グラスがはめ込まれています。2階にバルコニー
風の窓台を据え、窓頂部には持ち送り装飾とし

てしつらえています。当時の帝国劇場をモデルに
したと言われており、外壁に特注品のスクラッチ
タイルを使うなど、細部にまでこだわりが見ら
れます。

これであなたも主計町通!

カズエマチの レキンをマナブ

金沢にある三つの茶屋街の一つで、明治期に成立しました。町名の由来はかつてここに上屋敷を構え
ていた人持組頭富田主計からきており、浅野川横にあることから「ながれ」と呼ばれたことも。1
度は尾張町に吸収され町名が消滅したものの、平成11年に全国で初めて旧町名を復活させました。
木虫窟(きむすこ)と呼ばれる格子窓が特徴的で、格子を台形型にすることで、中から外を見やすく、
外からは見えにくくし、お客のプライバシーを守っていました。



A あかり坂

Akarizaka

五木寛之氏より命名

長い間名無し坂でしたが、平成20年に金沢ゆかり
の作家である五木寛之氏によって名付けられ
ました。泉鏡花のあけの明星をよんだ句に由来
しています。狭くカーブした石段に吸い込まれ
るような不思議な魅力をもっています。

B 暗がり坂

Kuragarizaka

薄暗かったことから名が付いた

頭上に雑木が茂り、薄暗かったことから付いた
名は暗がり坂。若者たちは、義経の六甲山を越え
ての平家攻めになぞらえ、この坂をこえてお茶
屋に繰り出すことを「ひよどり越え」と呼んでい
ました。

リノベーション

近頃話題になっているリノベ。元々の性能に付加価値を付け、用途や機能を一新させ、より豊かに活
用することを意味します。見渡せば金沢の古き良きまちなちの中にもリノベが溢れています。主計
町・橋場町周辺にもリノベの風が吹き始め、新しいコミュニティが生まれ始めました。リノベはまち
づくりにおいても鍵を握っているのです。



C 八百萬本舗・外部
Yaoyoroz-honpo/outside

旧志村金物店

増改築を重ねた100坪を超える木造2階建ての
旧志村金物店が、昔ながらの佇まいを残したま
ま、セレクトショップに、商店の記憶を引き継ぐ
土間空間に、明かりを取り入れる坪庭まで、長い
歴史に新しさが織り込まれています。



D 八百萬本舗・内部
Yaoyoroz-honpo/inside

生活の中の遺構

店内の右奥の廊下に2つの小窓、床下には用水
の九人橋川の流れ、東内蔵構跡の石垣が家を横
断している様子を覗くことができます。加賀百
万石の歴史は、生活の中に溶け込んでいるので
す。

これであなたも尾張町通!

オワリチヨウの レキンをマナブ

前田利家が尾張名古屋の出生地から連れてきた御用商人を移住させたことが町の始まりと言
われています。当時は実績により藩主に誘致された大店だけが並ぶ、加賀藩の表看板の商人
町でありました。世の中が変化した明治維新後も、洋品雑貨・巻煙草屋・ランプ屋等流行の最
先端の物品を扱い、近江町と共に繁華街として栄えていました。当時の繁栄の証は、今も通り
に面する広い間口の大型店舗として残っています。



A 北国街道
Hokkoku kaido

江戸往来の北陸路

江戸時代初期に加賀藩の参勤交代や家臣の
れ故、尾張町の中でも、藩主の通る下尾張町側
の商人は特に店構えに気を配っておりまし
た。

北国街道へ上げて行くことが慣例でした。そ
江戸往來のために整備された北陸路のことで
す。加賀藩主の参勤交代は、金沢城の大手門よ
り出発し、尾張町通りに出、右折し橋場町から



B 金沢城
Kanazawa castle

石垣の博物館

元々は一向一揆の拠点であった金沢御堂の場
所に、佐久間盛政が城を築いたのが始まりで
す。前田利家の入城後に本格的な城造りが行
われました。城跡は陸軍の拠点、金沢大学の

キャンパスという経歴を経て、藩政期時代の
建物は、石川門、三十間長屋、鶴丸倉庫のみと
なりました。石垣の博物館と呼ばれ、特殊な技
術やデザインの多様多様さが有名です。



C 望楼
Watchtower

金沢城を見るひととき

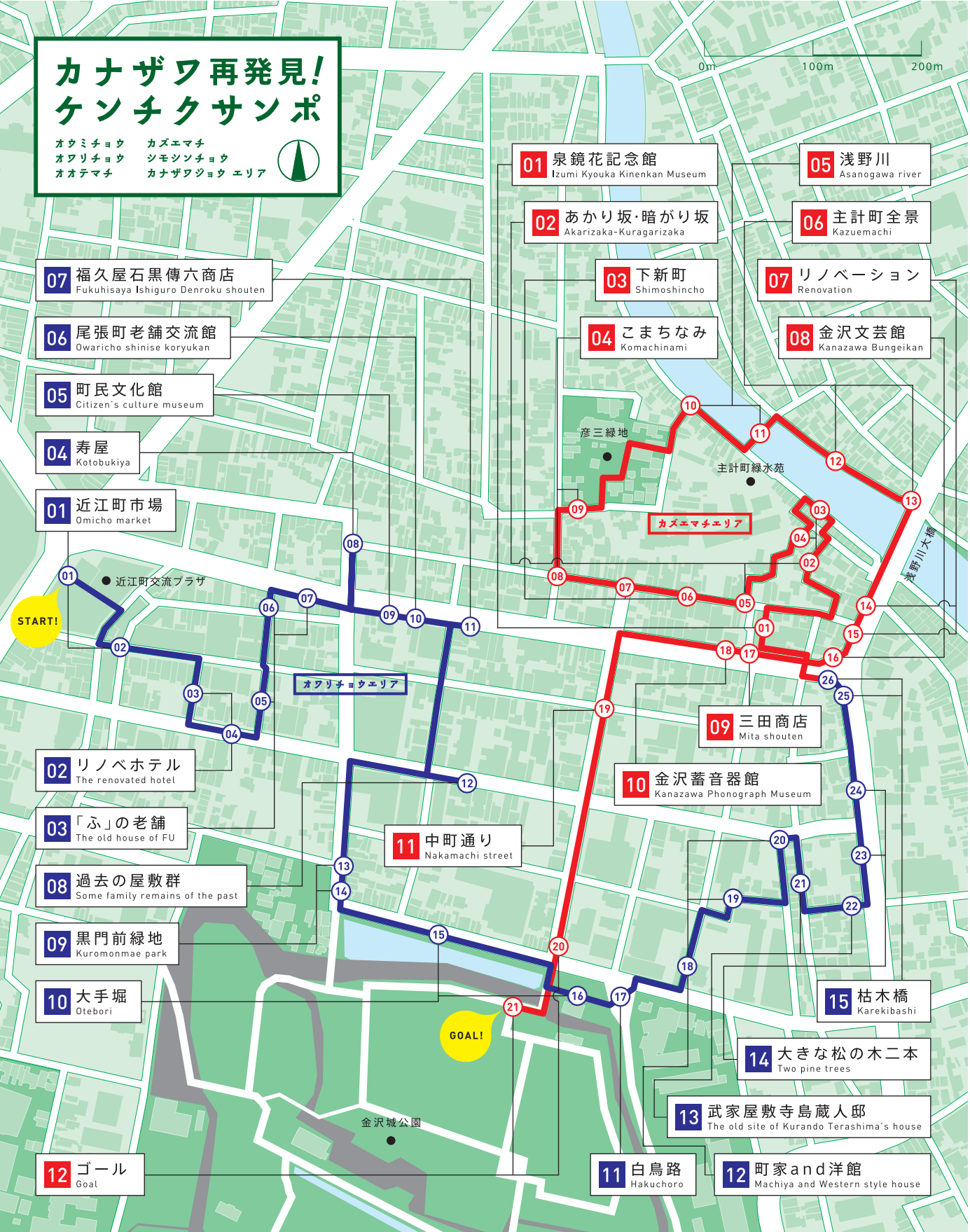
創業天保13年、170年以上続く老舗の塗装
専門店森忠商店。尾張町ではよく目にする、
屋根の上ののっかる小部屋は、遠くを見つめ
るための望楼。金沢城などを眺めるために使われ
ていました。



D ごっぽ石
Goppoishi

三田商店の玄関先に注目

下駄で雪道を歩いた際に、歯の間に詰まった雪
を落とすために使用されていました。足が雪に
埋まる上につかる小部屋は、遠くを見つめ
るための望楼。金沢城などを眺めるために使われ
ていました。



さあ、オワリチョウをあるいてみよう!

KANAZAWA KENCHIKU SANPO ORIGINAL COURSES

加賀蒲団一の繁華街だった尾張町、金沢三茶屋街のひとつ主計町。藩政期の面影が色濃く残り、金沢の歴史が積層したこのエリア。江戸・明治・大正・昭和・平成を自由に行き来できるタイムトラベルへようこそ!

金沢工業大学 宮下研究室の学生が取材!

サンポのキャンパス 01-26 オワリチョウエリア 徒歩約45分 01-21 カズエマチエリア 徒歩約40分

01 近江町市場 Omicho market
ちょっと寄ってきまっし
①「姉さんちょっと寄ってきまっし!」ここに來れば40歳でも60歳でもお姉さん。金沢市民の舌を肥えさせ続けて早400年、今日も市民の台所は大賑わい。②鮮魚にコロッケに串焼きと、お腹の容量を便に超える誘惑にどうぞ負けてください。食べて、味見して、心も大満足。

02 リノベホテル The renovated hotel
サンポ仲間ができるかも
③店先だけが市場じゃございません。店の裏をひっきりなしに出入りする車とは、新鮮な市場の証拠。④ビジホをリノベーションした話題のホテルには、宿泊客以外も立ち寄れるカフェが、本日のサンポ仲間ができるかも。

03 「ふ」の老舗 The old house of FU
ふふふふふ
⑤古い町家といちはエリアのちょうど境目。車通りも多いのでお気を付けて。⑥目の前に「ふ」の文字が見えましたか? 金沢料理に欠かせない数は、味形共に種類が豊富。作り続けて150年、これが老舗でございます。⑦醬油屋に酒屋、何やら専門店が目立ってきました。

04 寿屋 Kotobukiya
江戸末期建築の老舗料亭
⑧町並みの中でひと際目立つこちらは、江戸時代末期建築の金澤町家の老舗料亭。明治中期の書院造りの群青壁の座敷、大正時代初期の茶室、昭和初期の近代和風の広間と、各時代の金沢の風情が盛り込まれています。

05 町民文化館 Citizen's culture museum
昔の金沢貯蓄銀行
⑨グレーの壁でどっしりと構えるこちらは町民文化館、昔の金沢貯蓄銀行です。商人銀行には欠かせません。屋根は入母屋造りで、棟上には一対のシャチがあり、棟瓦には「貯」の文字が入っています。

06 尾張町老舗交流館 Owaricho shinise koryukan
ずらりと並ぶ白黒写真
⑩元眼鏡屋の建物を利用した老舗交流館の中を覗くと、ずらりと並ぶ絵と写真、町の人々から集めた貴重な写真から、金沢経済の中心であった71軒もの大店(おודな)が建ち並ぶ、繁華街尾張町の姿が見えてきます。

07 福久屋石黒傳六商店 Fukuhisaya Ishiguro Denroku shouten
嘉永5年建築の薬局
⑪石黒家は現当主で20代にもなる由緒ある名家であり、7代目から代々傳六(てんろく)を襲名しています。建物は嘉永5年に建築され、現在も現役の薬局店です。

08 過去の屋敷群 Some family remains of the past
加賀八家 前田家跡
⑫通りを抜けると、ビルがずらりと建ち並びます。ちょうど目の前は加賀八家のひとつ前田家(長種系)の屋敷跡地。この大きな区画が過去の屋敷群を物語っています。

09 黒門前緑地 Kuromonmae park
黒門前緑地
⑬真っ白なのが掛った金澤町家のゲストハウス。住むように泊られます。⑭前田利家の四女豪姫の邸宅跡地に、アドレナリンを発見した高峰たけし71軒の大店(おודな)が建ち並ぶ、繁華街尾張町の姿が見えてきます。

10 大手堀 Otebori
金沢城で最も大きい石はどれ
⑮さて、もうお気づきでしょう。目の前に広がるのは金沢城のお堀、大手堀です。雄も悠々と泳いでいます。⑯大手門の石垣には金沢城で最も大きい石が使用されています。さてどの石のことでしょう。

11 白鳥路 Hakuchouro
ホテルの名所
⑰堂々たる白鳥の像の後ろに続くのは数々の彫刻が並ぶ白鳥路。夏には、多くのホテルを鑑賞できる名所でもあります。ホテルを求めて、暗闇に大勢の人が押し掛ける光景も新たな夏の風物詩?

12 町家and洋館 Machiya and Western style house
ケンチク探究心をくすぐる
⑱しゅっとのびる煙突がアクセントになっているのはドラマに出てきそうな静かなお屋敷。⑲住宅街の細い道を曲がって曲がって、⑳左手に古い洋館、右手には町家と、ケンチク探求心をくすぐりますが、内部公開はされていないのでくつこらえて。

13 武家屋敷寺島蔵人邸 The old site of Kurando Terashima's house
武家屋敷寺島蔵人邸
⑳中級武士の邸宅の一部が残る寺島蔵人邸。庭を歩くこともでき、ドウダンツツジの春の開花、秋の紅葉は必見です。㉑建物の間からひょっこり覗くのは、卯辰山。昔は金沢城を一望できることから、庶民の登山は禁止されていたが、今ではドライブに遠足にと24時間登り放題。

14 大きな松の木二本 Two pine trees
立派なアイコン
㉒最近近所からお引っ越ししてきた菓子司森八本店。390年という歴史を感じさせる、千数百年もの菓子木型の展示は圧巻。㉓通りの向こう側には大きな松の木が二本、手前は大燗焼を扱う美術館の松の木。奥は由緒正しき料亭の松の木。2本とも立派なアイコンです。

15 枯木橋 Karekibashi
ケンチクサンポツウなら
㉔ケンチクサンポツウなら一目見て気づく、惣構堀。ここにも顔を出しております。㉕「橋の傍らに枯れ木があったから。」付けられた名は枯木橋。道路と一体化していて、橋たなかなか気づいてもらえませんが、今の石橋となって120年、木橋時代から数えると400年前からここで頑張っています。

16 大きな松の木二本 Two pine trees
明治期形成の茶屋街
㉖建物の合間を縫うようなこちらの坂はあかり坂。㉗尾張町や橋場周辺が繁華街だった明治期に形成された茶屋街、主計町。㉘壁間も光があたらず暗いことから、そのまま名前は暗がり坂。覚えやすいでござんす。㉙町中の玄関先には、文楽楽鏡花の愛したうさぎが描かれたあんどんが。

17 町家and洋館 Machiya and Western style house
尾張町の拡大によって出来た町
㉚尾張町の町の拡大に伴って出来たのがここ下新町。バン屋に、蕎麦屋に、佃煮屋。ふらりと食べるのも通ります。㉛子供達の声が響く中、駐車場の向こう側では用水が顔をのぞかせています。

18 町家and洋館 Machiya and Western style house
話題のリノベ建築
㉜あの金屋が生まれ変わったって、地元でも話題になりました。ヒトモノコトが集まる、町家リノベのローカルショップ、八百萬本舗とはこのこと。㉝仏壇店のビルが、街と観光客を繋ぐホテルに大変身。古い街並みが残る金沢とリノベーションは相性抜群。

19 黒門前緑地 Kuromonmae park
交差点の向こう側、ランドマークとしてひと際目立つのは文芸館、夜はオレンジの光に浴び込む、気分は昭和ロマン、何ともまろソニック。

20 大きな松の木二本 Two pine trees
黒瓦の街並み
㉞川の反対側から主計町を眺めれば、釉薬を塗って焼いた、艶のある黒瓦の街並みに心奪われるはず。㉟三連アーチの浅野川大橋は、桜に友禅流しに灯籠流しと、年中通して見どころ満載。いつ通っても、思わず立ち止まり眺めてしまう景色あり。それゆえ人の渋滞にはご注意ください。

21 町家and洋館 Machiya and Western style house
金沢文芸館
㉠金沢は石川門が正門だと思われがちですが、実際は河北門こそが実質的な正門でありました。そこに通ずるのがこの先にある、大手門。今はとても静かな佇まいです。㉡さてさて広がる芝生の先に見えるのは金沢城です。明治以降は軍事の拠点、戦後は金沢大学のキャンパスと、転機を重ね、現在は金沢城公園となりました。復元整備工事は年々進み、公開範囲が拡大中。

22 町家and洋館 Machiya and Western style house
黒瓦の街並み
㉢川の反対側から主計町を眺めれば、釉薬を塗って焼いた、艶のある黒瓦の街並みに心奪われるはず。㉟三連アーチの浅野川大橋は、桜に友禅流しに灯籠流しと、年中通して見どころ満載。いつ通っても、思わず立ち止まり眺めてしまう景色あり。それゆえ人の渋滞にはご注意ください。

23 町家and洋館 Machiya and Western style house
黒瓦の街並み
㉣川の反対側から主計町を眺めれば、釉薬を塗って焼いた、艶のある黒瓦の街並みに心奪われるはず。㉟三連アーチの浅野川大橋は、桜に友禅流しに灯籠流しと、年中通して見どころ満載。いつ通っても、思わず立ち止まり眺めてしまう景色あり。それゆえ人の渋滞にはご注意ください。

24 大きな松の木二本 Two pine trees
黒瓦の街並み
㉤川の反対側から主計町を眺めれば、釉薬を塗って焼いた、艶のある黒瓦の街並みに心奪われるはず。㉟三連アーチの浅野川大橋は、桜に友禅流しに灯籠流しと、年中通して見どころ満載。いつ通っても、思わず立ち止まり眺めてしまう景色あり。それゆえ人の渋滞にはご注意ください。

25 町家and洋館 Machiya and Western style house
黒瓦の街並み
㉥川の反対側から主計町を眺めれば、釉薬を塗って焼いた、艶のある黒瓦の街並みに心奪われるはず。㉟三連アーチの浅野川大橋は、桜に友禅流しに灯籠流しと、年中通して見どころ満載。いつ通っても、思わず立ち止まり眺めてしまう景色あり。それゆえ人の渋滞にはご注意ください。

26 大きな松の木二本 Two pine trees
黒瓦の街並み
㉦川の反対側から主計町を眺めれば、釉薬を塗って焼いた、艶のある黒瓦の街並みに心奪われるはず。㉟三連アーチの浅野川大橋は、桜に友禅流しに灯籠流しと、年中通して見どころ満載。いつ通っても、思わず立ち止まり眺めてしまう景色あり。それゆえ人の渋滞にはご注意ください。

PICK UP KENCHIKU EDO 江戸
武家屋敷寺島蔵人邸
The old site of Mr.Kurando Terashima's house

01 泉鏡花記念館 Izumi Kyouka Kinenkan Museum
泉鏡花のふるさと

05 浅野川 Asanogawa river
眺めよし

09 三田商店 Mita shouten
商売の歴史を語るレンガ風建築

13 武家屋敷寺島蔵人邸
中級武士の邸宅

01 泉鏡花記念館
誰もが一度は目にしたことがある工業デザイナー柳宗理の名作の数々をご覧ください。秋の紅葉は必見です。②建物の間からひょっこり覗くのは、卯辰山。昔は金沢城を一望できることから、庶民の登山は禁止されていたが、今ではドライブに遠足にと24時間登り放題。

05 浅野川
川に突き当たって左手を眺めます。古き良き景観を壊さぬよう、茶屋街と連続して高さを抑えた建物が浅野川沿いに建ち並びます。これが長年の街の努力によってつづつ、⑩木造の「中の橋」は、揺ってもよし、歩いてもよし、眺めてもよし。

09 三田商店
ページと茶色の外壁が目印の三田商店。大正ロマンな西洋風で昭和5年に建てられました。建物のみならず、洋品、雑貨、電化製品、絵と骨董品と、時代に応じて変貌した商売の歴史もあり、

13 武家屋敷寺島蔵人邸
中級武士の邸宅の一部が残る寺島蔵人邸。庭を歩くこともでき、ドウダンツツジの春の開花、秋の紅葉は必見です。②建物の間からひょっこり覗くのは、卯辰山。昔は金沢城を一望できることから、庶民の登山は禁止されていたが、今ではドライブに遠足にと24時間登り放題。

01 泉鏡花記念館
誰もが一度は目にしたことがある工業デザイナー柳宗理の名作の数々をご覧ください。秋の紅葉は必見です。②建物の間からひょっこり覗くのは、卯辰山。昔は金沢城を一望できることから、庶民の登山は禁止されていたが、今ではドライブに遠足にと24時間登り放題。

05 浅野川
川に突き当たって左手を眺めます。古き良き景観を壊さぬよう、茶屋街と連続して高さを抑えた建物が浅野川沿いに建ち並びます。これが長年の街の努力によってつづつ、⑩木造の「中の橋」は、揺ってもよし、歩いてもよし、眺めてもよし。

09 三田商店
ページと茶色の外壁が目印の三田商店。大正ロマンな西洋風で昭和5年に建てられました。建物のみならず、洋品、雑貨、電化製品、絵と骨董品と、時代に応じて変貌した商売の歴史もあり、

PICK UP KENCHIKU EDO 江戸
近江町市場
Omicho market

01 泉鏡花記念館
泉鏡花のふるさと

05 浅野川
眺めよし

09 三田商店
商売の歴史を語るレンガ風建築

13 武家屋敷寺島蔵人邸
中級武士の邸宅

01 泉鏡花記念館
誰もが一度は目にしたことがある工業デザイナー柳宗理の名作の数々をご覧ください。秋の紅葉は必見です。②建物の間からひょっこり覗くのは、卯辰山。昔は金沢城を一望できることから、庶民の登山は禁止されていたが、今ではドライブに遠足にと24時間登り放題。

05 浅野川
川に突き当たって左手を眺めます。古き良き景観を壊さぬよう、茶屋街と連続して高さを抑えた建物が浅野川沿いに建ち並びます。これが長年の街の努力によってつづつ、⑩木造の「中の橋」は、揺ってもよし、歩いてもよし、眺めてもよし。

09 三田商店
ページと茶色の外壁が目印の三田商店。大正ロマンな西洋風で昭和5年に建てられました。建物のみならず、洋品、雑貨、電化製品、絵と骨董品と、時代に応じて変貌した商売の歴史もあり、

PICK UP KENCHIKU MEIJI 明治
近江町市場
Omicho market

01 泉鏡花記念館
泉鏡花のふるさと

05 浅野川
眺めよし

09 三田商店
商売の歴史を語るレンガ風建築

13 武家屋敷寺島蔵人邸
中級武士の邸宅

01 泉鏡花記念館
誰もが一度は目にしたことがある工業デザイナー柳宗理の名作の数々をご覧ください。秋の紅葉は必見です。②建物の間からひょっこり覗くのは、卯辰山。昔は金沢城を一望できることから、庶民の登山は禁止されていたが、今ではドライブに遠足にと24時間登り放題。

05 浅野川
川に突き当たって左手を眺めます。古き良き景観を壊さぬよう、茶屋街と連続して高さを抑えた建物が浅野川沿いに建ち並びます。これが長年の街の努力によってつづつ、⑩木造の「中の橋」は、揺ってもよし、歩いてもよし、眺めてもよし。

09 三田商店
ページと茶色の外壁が目印の三田商店。大正ロマンな西洋風で昭和5年に建てられました。建物のみならず、洋品、雑貨、電化製品、絵と骨董品と、時代に応じて変貌した商売の歴史もあり、

PICK UP KENCHIKU SHOWA 昭和
ゴール
Goal

01 泉鏡花記念館
泉鏡花のふるさと

05 浅野川
眺めよし

09 三田商店
商売の歴史を語るレンガ風建築

13 武家屋敷寺島蔵人邸
中級武士の邸宅

01 泉鏡花記念館
誰もが一度は目にしたことがある工業デザイナー柳宗理の名作の数々をご覧ください。秋の紅葉は必見です。②建物の間からひょっこり覗くのは、卯辰山。昔は金沢城を一望できることから、庶民の登山は禁止されていたが、今ではドライブに遠足にと24時間登り放題。

05 浅野川
川に突き当たって左手を眺めます。古き良き景観を壊さぬよう、茶屋街と連続して高さを抑えた建物が浅野川沿いに建ち並びます。これが長年の街の努力によってつづつ、⑩木造の「中の橋」は、揺ってもよし、歩いてもよし、眺めてもよし。

09 三田商店
ページと茶色の外壁が目印の三田商店。大正ロマンな西洋風で昭和5年に建てられました。建物のみならず、洋品、雑貨、電化製品、絵と骨董品と、時代に応じて変貌した商売の歴史もあり、

MACHI & KENCHIKU PICK UP!